

農試第287号
平成19年4月26日

各関係機関の長様

福井県農業試験場長
(公印省略)

農作物病虫害発生予察予報の送付について

このことについて、下記のとおり発表しましたので送付します。

連絡先	福井県農業試験場 病虫害防除室
☎	0776-54-5100
FAX	0776-54-6403
E-mail	fukui_byougai@fklab.fukui.fukui.jp

平成19年農作物病虫害発生予察予報第3号

5月の気象概況

天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れる日が多いでしょう。
期間の気温は平年並みか高い、降水量は少ないと予想されます。

[水稲関係]

病虫害名 苗いもち

1 予報内容

被害程度：少発

発生量：平年より少なく、前年並み。

2 防除対策および防除上の注意すべき事項

- (1) 育苗施設内の換気に気を付け、過湿にしないようする。
- (2) 育苗施設内や周辺に放置してある稲わらや籾がらは伝染源となるので、除去する。
- (3) 発病の恐れがある場合や発生を確認した場合には液剤、水和剤で防除する。育苗期の薬剤防除は苗いもちだけでなく、本田の葉いもちを抑制する効果がある。
- (4) 遅植栽培では、必ず育苗箱施薬を行う。

病虫害名 イネミズゾウムシ

1 予報内容

発生時期：成虫の進入最盛期は平年より早く5月5半旬頃

被害程度：少発、局中発(遅植え田、山間・山沿い)

発生量：平年よりやや少なく、前年並み

2 防除対策

- (1) 毎年、発生の見られる地域、遅植田や越冬地の雑木林や土手などに近い水田では被害が出やすいので、必ず育苗箱施薬を行う。なお、使用に当たっては、ラベル記載事項を厳守する。
- (2) 間断通水や浅水管理を行って幼虫の密度を抑制し、6月上旬からはできるだけ早く中干しを行う。
- (3) 直播栽培で播種の早い圃場では、種子コーティング時に殺虫剤を混入していない場合、被害が大きくなる恐れがあるので注意する。

病害虫名 イネヒメハモグリバエ

1 予報内容

対象作型：直播栽培、遅植栽培
 発生時期：加害盛期 6月上旬
 被害程度：少発
 発生量：平年並み、前年より少ない

2 防除対策

- (1) 遅植栽培は被害を受けやすいので必ず育苗箱施薬を行う。
- (2) 発生が多い場合は幼虫発生初期に薬剤を散布する。
- (3) 葉が水面に浮いていると産卵場所となるため、深水にならないように注意する。
- (4) 圃場周辺の除草に努める。

[大麦関係]

病害虫名 赤かび病

1 予報内容

発生時期：初発は5月上旬
 被害程度：少発、局中発
 発生量：平年・前年より少ない

2 防除対策および防除上の注意点

- (1) 赤かび病に最も感染しやすい時期は開花盛期である。そのため、穂揃期（出穂後5日頃）とその7日後頃の2回薬剤防除を行う。
- (2) 出穂後降雨が続き、多発しやすい気象条件のときは、追加防除を行う。

[野菜関係]

野菜名	病害虫名	予 報 内 容			防 除 対 策
		発生時期	被害程度	発生量	
アブラナ科野菜	モンシロチョウ	加害盛期：5月中旬	中 発	平年：やや多 前年：多	1)加害初期の若齢幼虫期に防除する。 2)対象作物により薬剤が異なるので注意する。
ウリ類	ウリハムシ（越冬成虫）	初発期：5月中旬	少 発 (局中発)	平年：やや多 前年：やや多	1)対象作物により薬剤が異なるので注意する。
全 般	アブラムシ類	初発期：4月中旬	中 発	平年：多 前年：多	1)定植期から発生初期にかけて防除する。 2)対象作物により薬剤が異なるので注意する。
	ネキリムシ類(カブラヤガ)	加害盛期：5月下旬	少 発 (局中発)	平年：やや多 前年：やや多	1)被害の早期発見に努める。 2)対象作物により薬剤が異なるので注意する。

[果樹関係]

果樹名	病害虫名	予 報 内 容			防 除 対 策
		発生時期	被害程度	発 生 量	
ナ シ	黒星病	初発期： 5月上旬	少 発 (局中発)	平年：並み 前年：並み	同一系統薬剤の連用を避ける。
	黒斑病	初発期： 5月上旬	少 発 (局中発)	平年：並み 前年：並み	同一系統薬剤の連用を避ける。
	赤星病	初発期： 5月上旬	少 発	平年：並み 前年：並み	同一系統薬剤の連用を避ける。
ウ メ	かいよう病	果実初発 4月下旬	少 発 (局中発)	平年：並み 前年：やや少	1)生育期(5月)に抗生物質剤で予防防除する。 2)降雹後、ただちに抗生物質剤で防除する。 3)防風対策等を実施する。
	アブラムシ類	最盛期： 5月上旬	少 発 (局中発)	平年：並み 前年：並み	同一系統薬剤の連用を避ける。
	ウメシロカイガラムシ(第一世代)	幼虫発生初期： 5月上旬	少 発 (局中発)	平年：並み 前年：並み	幼虫出現期とその7～10日後の2回薬剤防除する。
	コスカシバ	加害時期 4～10月	少 発	平年：並み 前年：並み	1)5月上中旬にスカシバコンを10a当たり50本枝につるす。 2)侵入部を見つけ捕殺する。

[花き関係]

花き名	病害虫名	予 報 内 容			防 除 対 策
		発生時期	被害程度	発 生 量	
キ ク	白さび病	初発期： 5月中旬	少 発	前年：並み	1)罹病株が周辺への伝染源となるので、抜き取り処分する。 2)日当たり、風通しを良くする。 3)同一系統薬剤の連用を避ける。
	アブラムシ類	初発期： 4月中旬	中 発	前年：多	同一系統薬剤の連用を避ける。
	ミカンキイロアザミウマ	初発期： 5月上旬	少 発 (局中発)	前年：並み	同一系統薬剤の連用を避ける。